

3. 2017 年度活動概要

言語接触研究会では、「現代英語の変異性：言語接触の諸相」をテーマとして研究活動を続けております。研究会を定期的に成城大学、その他で開催し、1) 現代英語の多様性・日英語接触の諸相（カタカナ英語表記の変遷、明治維新の日英語接触）・映画の中の英語の多様性・映画を用いた授業展開や教材開発の可能性・映画による大学英語教育の可能性（語彙及び表現指導）・映画で学ぶ現代英文法指導の可能性；2) 海外の大学での国際交流（英語による日本人と外国人の交流）活動の実践例および今後の可能性研究；3) 大学における英語による各種授業展開（医学部・情報学部・国際学部、等の専門科目）の実践例及びその可能性などについて調査研究、など各委員がそれぞれ独自に進めている研究についての情報交換を中心に研究活動を進めました。

特に、1) に関しては、「映画」という共通項のもとに、様々な分野についての言語接触の諸相研究の可能性を広げることができたので、今後もこの分野の研究活動を続けていきたいと考えています。会員の中には、勤務先の研究助成や文科省の科研費に応募し、多額の研究費を獲得した者もおります。団体での研究が比較的多いこの分野で、個人が科研費を獲得したことは高く評価されるべきであり、地味だが着実な研究活動が評価され、一定の成果が上がってきているものと考えております。来年度も継続してこの研究テーマを追求していきたいと考えております。